

# ふるさと岡山“学び舎”環境整備事業 活用プラン一覧

令和8年7月1日現在

	学校名	プランの名称	概要	目標額(千円)	実施予定時期
1	岡山工業高等学校	生徒用テント整備プラン	近年、記録的な暑さに見舞われており、生徒の熱中症対策と体調管理に必要なテントを整備し、教育活動や学習環境の充実を図ります。	650	令和4年度から順次
2	岡山城東高等学校	“魅力的で快適な城東ライブ”創出プラン	本校においてマリンバは、音楽学類の授業だけでなく、授業の延長として、入学式、卒業式、オープンスクールのオープニング、中庭コンサートや学園祭等における演奏で使用するなど、非常に使用頻度の高い楽器ですが、開校以来40年近くが経過し、経年劣化が著しく、買い換えが必要な状態です。マリンバの更新を実現し、音楽のある魅力的で快適な城東スクールライブを一層充実させます。	2,700	令和8年度
3	岡山操山中学校	音楽の授業や自主的な学習活動の活性化推進プラン	本校では部活動やSOZAN国際塾(意欲的な生徒が自主的に学校外でのコンテスト等に参加する活動です。)の活動を精力的に行っており、優秀な成績を収めています。参加する生徒が多く、楽器や必要な備品 大型プリンタ、カメラレコーダーの不足等が見られる状況です。また、楽器については音楽の授業でも活用するものです。指導を行う上で十分な環境を整備し、生徒が生き生きと活動を続けるためにその充実を図ります。	3,300	令和8年度
4	岡山大安寺中等教育学校	チーム大安寺環境整備事業	中等教育学校6年間の、基礎・充実・発展期の3ステージで教育活動を構成し、進学実績だけでなく、協調性や思いやりの心を育み、国内外のリーダー人材育成に努めています。授業はもとより、学校行事の充実やそのための環境整備にも力を入れ、子どもたちがよりよい学習環境で充実した学校生活を過ごせるよう、体育祭等で使用する「宮太鼓」2セット・文化祭等での発表・提示用「生物教室モニター」1台・球技大会前など雨天後の運動場整備用「グラウンド大型レーキ」1基を購入整備します。	1,500	令和8年度
5	岡山東商業高等学校	岡山東商業高校 部室整備事業 ~創立130周年記念事業~	本校の生徒の部活動の活性化に向けて、生徒の教育環境の整備のため、老朽化している部室の改修整備を行います。	61,000	令和8年度
6	岡山芳泉高等学校	「ICT学習環境整備」プラン	本校ではICT機器を活用した学習環境の充実を図るため、特別教室へのネットワーク通信回線環境の整備や普通教室のプロジェクター等の更新を図ります。	3,800	令和5年度から順次
7	笠岡高等学校	LL教室ICT機器活用学習環境整備事業	ICT機器(プロジェクター、スクリーン、スピーカー)と1人1台端末で使用しているiPadのネットワーク通信機器(無線アクセスポイント他)を備え、メモ付付チェアにより講義形式・グループ討議等に対応した環境を整備します。	4,500	令和8年度
8	笠岡商業高等学校	体育館Wi-Fi環境整備プラン	体育館アリーナに無線LANアクセスポイントを2箇所整備し、より多彩なICT活用を可能とする環境を整え、1人1台端末やインターネットを活用した多角的なアプローチによる授業等を展開するとともに、部活動や行事等でも積極的に活用することで、情報を活用する力を育む教育活動の向上・充実を図っていきます。	1,500	令和8年度
9	勝山高等学校	勝高いきいき夢現(むげん)プラン (スポーツトラック整備事業)	これまで生徒や教員が人力でトンボ掛けをしていたグラウンド整備について、新たに鉄製のレイキを牽引できるスポーツトラックを導入することで、より良いグラウンド環境を実現するとともに、体育の授業や部活動の活動時間の確保、練習の質の向上を図ります。	4,620	令和8年度
10	倉敷商業高等学校	学校図書館の蔵書充実事業	読書をすることは、「考える力」、「感じる力」、「表す力」等を育むとともに、豊かな情操を育み、その意味からも学校図書館の役割は大きく、重要です。学校図書館が深い知識や教養を学べる場となるよう、また、今以上に生徒に利用してもらえる場となるよう、必要な蔵書を整備・充実していきます。	3,000	令和7年度から順次
11	倉敷南高等学校	倉南学習環境リ・デザインプロジェクト	本校が掲げる「自律した学習者」の育成のため、個別ブース式の自習室を増設するとともに、面談室を新設し、複数の面談スペースを設けることで、生徒の主体的な学びの促進と生徒の希望に沿った進路実現を図ります。また、最大200名収容できる大講義室を整備し、外部人材等を活用した講演会やオンライン授業を可能とすることで、社会に開かれたカリキュラムの構築による学びの深化を図り、よりよい学習環境の充実に取り組みます。	10,000	令和7年度から順次

	学校名	プランの名称	概要	目標額(千円)	実施予定時期
12	倉敷古城池高等学校	サステナブルな グラウンド整備プラン ～地球に優しいLED照明への 転換に向けて～	本校のグラウンド照明はマルチハロゲン灯を使用していますが、これをLED照明に更新することにより、CO2削減による環境保護、節電効果、メンテナンス費用の削減など、地球に優しいグラウンド環境が実現できます。 部活動を含む教育活動全般、冬期の防犯対策、非常時におけるグラウンド開放など、様々な場面で活用していきます。	5,000	令和8年度 から順次
13	興陽高等学校	アクティブ・ラーニングの ための教室環境整備事業	本校では、教室に生徒用ロッカーが設置されていないため、生徒のカバン等は常時机の周りに置かれています。近年、カバンも大型化しており、アクティブラーニングなど様々な形態の授業実践の支障となっています。教室内にロッカーを設置し、アクティブ・ラーニングを実践しやすい教育環境を整備します。	1,000	令和元年度 から順次
14	西大寺高等学校	未来へつながれ プロジェクト	本校は、創立以来の「自由でおおらかな校風」と全国レベルの活躍を見せる「部活動」を大切にしながら、「新しい時代を生き抜く力を持った生徒の育成」を目標に掲げています。学びの環境を整備し、生徒の心身の健全な成長を支援するため、部活動の核となる部室棟を建築し、教育環境の充実を図ります。	30,000	令和8年度
15	瀬戸南高等学校	瀬戸南SDGsスマート農業 発信プラン	本校では令和4年度にコミュニティスクールを立ち上げ、地域との繋がりを重視した学校運営を進めることとしています。そこで、率先してスマート農業化を推進することで、学校の魅力向上を図り、専門性の高い人材を育成して地域へ還元していくことが本校の大切な役割であると考えています。そのためにSDGsの観点から無化学肥料・無農薬の稲作実習に最先端技術を組み合わせた中耕除草機を導入し、地域の農業関係団体や企業等と連携を進めながらアピール力の高い教育活動を行っていきます。	2,200	令和6年度 から順次
16	総社高等学校	体育の授業・部活動 活性化プラン	本校テニスコートは、水はけが良好ではなく、長年の使用により、砂が流出して徐々にフラットでなくなってきており、適宜土を入れるなど修繕を繰り返している状況です。 そこで、本プランでは、テニスコートに適した庄真砂土を搬入し、ローラー転圧を行うとともに、長期的に土壌を安定させるスポーツ用バインダーを散布することで、生徒にとって使いやすく、よりよい学習環境の充実に向けた整備を行います。	7,500	令和10年度
17	高梁高等学校 ・高梁城南 高等学校	「温知寮・泉寮」 リフレッシュプラン ～ともに暮らし、ともに 学び合う教育寮へ～	現在ある寮は長い伝統がありますが、建物は老朽化が進んでいます。また、令和6年度入学生から高梁高校普通科においても全県学区となったことから、多くの生徒を受け入れ、ただ生活するだけでなく、ともに学び合い一人ひとりの自立と成長につながるように教育寮とするためにリフォームを行います。そのための第1弾として、それぞれの食堂を改修し、自習室や交流室などにも使えるように、温かい雰囲気のある空間に整備していきます。	25,000	令和8年度
18	玉島商業 高等学校	玉島商業高校 創立100周年記念関連事業 玉商広報掲示板整備プラン	本校の創立100周年(令和8年度)記念事業の一環として、本校の生徒の活躍を広くPRするための掲示板等を設置します。	2,500	令和8年度
19	玉野 高等学校	図書館環境整備 事業活用プラン	本校の図書館は、図書の閲覧や貸出だけでなく、授業でも積極的に利用されています。個々の調べ学習・グループワーク・ディスカッション等、学習スタイルに応じて配置や形態を変え、機能的に使用できる机と椅子を設置し、環境整備を行います。	2,500	令和3年度 から順次
20	津山中学校・ 高等学校	視聴覚教室 アップグレードプラン ～今よりもっと活動的に。 もっと学びが広がる空間へ～	本校では、課題の発見・解決に向けた主体的・協動的な学びを実践しています。今後さらに指導方法の充実や授業改善への取組を発展的に進めるため、視聴覚教室にICT機器等を整備し、探究型の教育環境を整えていきます。	30,000	令和6年度 から順次
21	津山商業 高等学校	津山商業高校 体育館ステージ 電動昇降式スクリーン 設置事業	学校行事等にスクリーンを使用する際、現状では既存の手動昇降式ボタンにスクリーンを取り付けて使用していますが、新たに電動式昇降スクリーンを新設します。本事業により、さらに充実した課題研究発表や講演会、生徒会活動等を行い、教育活動の発展を目指します。	1,600	令和7年度 から順次
22	矢掛 高等学校	矢掛高校石垣等保全事業	学校を取り巻く石垣、白壁、堀の外構は、明治34年の旧制岡山県立矢掛中学校創設以来120年以上にわたり、矢掛町の風土と歴史を色濃く反映した景観として、本校の歴史とともに地域の過去を今に伝える重要な役割を果たしています。間知石(けんちいし)積みの希少な石垣など景観美は、かつてこの地に情熱を注いだ人々の技術と献身の証です。本校の外構が持つ歴史的価値を認識し、大切に保護して後世に継承するため、石垣・白壁等の保全を行うことで、生徒の矢掛町への郷土愛の醸成と学校の魅力向上を図ります。	3,400	令和6年度 から順次

※上記一覧に掲載のない学校に対しても、学校を指定して寄附いただけます。